

AT だより 12月号

(アシスティブテクノロジー)

2学期の「AT だより」です。2学期の内容はGIGAスクール構想とiPadやスイッチ、視線入力装置などの中学部の機器活用事例を紹介します。

1 GIGAスクール構想って何？

最近、時折ニュースでも取り上げられているGIGAスクール構想というのは、文部科学省が推進する児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する計画のことです。5年計画で、行われ、主に以下のような内容が実施されていきます。

- 校内のほとんどすべての教室のWi-Fi環境の整備(これまでは普通教室の周辺のみ整備されていました)
- 義務教育の児童生徒への一人一台の端末の整備(端末としてはiPadが導入されます。)
- 講師を派遣したり、新しいソフトウェアを導入したりして機器を活用した学習内容の改善等

世界の状況や子供たちの生活環境が、大きく変化してきているため、このような取組が行われることになってきました。さらに、具体的なことがわかりましたらお伝えしたいと思います。

2 中学部での機器活用事例

今回は中学部でのAT活用についてご紹介します。

(1)ZOOMの取組

まず、8月号の高等部の取組でも紹介のあったZOOM(オンラインミーティングアプリ)についてです。中学部でも活用してみました。

○ 音楽の授業の様子



別室での授業となった二人の生徒のいる教室と音楽室を結んで授業が行われました。離れていても、友達の発表や歌声を聞き合いながら楽しく授業が行われました。

○ 訪問学級での取組

中学部の訪問教育学級では、感染症対策のため直接訪問できない宮崎病院とリモート授業を週2回行っています。iPadとノートパソコンや大型テレビをつないで生徒さんに病院では見ることのできない学校の様子を伝えています。この日は、染め物についての学習などにも取り組みました。



(2) iPad のメモアプリの活用



学校紹介のポスターづくりの活動では、メモアプリを使ってインタビューした内容をテキスト入力に取り組みました(左の写真)。間違えたところは教師に手伝ってもらって修正することもあります。使い方に慣れてきています。入力したらWi-Fi プリンターに送って印刷してみんなでポスターに貼りました。

(3)カタカナアプリの活用

るぴなす祭で、ホワイトボードにおまじないのことはを書く演技を担当した Y さんは、何度もカタカナアプリを使って鏡文字にならないように練習するのに iPad を使いました(右の写真)。



(4)GarageBand ガレージバンド(音楽製作アプリ)



るぴなす祭で怪物を倒す音を奏でるために T さんが使用しました(左の写真)。音楽製作ができるアプリですが、いろいろな楽器を演奏することもできます。Bluetoothスピーカーとつないで大きな音を弾いて怪物と戦いました。T さんは、スピーカーから出る音も感じて楽しんでいました。

(5) ドロップトーク(VOCA アプリ:音声出力会話補助アプリ)

これも前回の高等部での取組でも紹介されていましたが、とても便利なアプリです。先生が事前にイラストや写真のボタンをアプリで作成し、それを K さんがタップすると大好きな楽しい動画が出てきます。それを見ていた友達に、ずっこけのコントにチャレンジしてもらいました。iPad を介してコミュニケーションの輪につながる取組です(右の写真)。



3 AT を駆使して

(1)スイッチを使って立位訓練

中学部の R さんは、物をぎゅーっと握ることが得意です。棒状の振動スイッチをしっかりと握って大好きな音や光を楽しむことができます。立位訓練も楽しく取り組んでいるようです(左の写真)。



(2)視線入力の取組

手でマウスを操作したりするのが難しい K さんは、見つめるのが得意なのでパソコンを使って視線入力に挑戦しています。「射的アプリ」を使って、2 枚のイラストから正解を選ぶ学習に取り組んでいます。(右の写真)。

